

平成21年度 事業計画（案）

日本の経済は、昨年後半からの世界的な景気後退の影響を受け、観光産業もまだ先行きが不透明な状況にあります。

平成20年10月、国においては「観光立国」を目指し、「観光庁」が発足しました。全国的な観光地間競争が激化する中で、平成20年度は「能登ふるさと博」を開催し、能登半島地震前の観光入り込み客数並みに回復してきましたが、能登半島の観光は依然として大変厳しい状況に置かれております。

平成21年度は、この厳しい状況の中で、当協会においても、国内旅行の需要喚起の為、石川県の「新ほっと石川観光プラン」などと連携し、協会の責任を果たすべく活動を推進し、能登半島の地域活性化に取り組んで参ります。事業計画にある「能登半島地震復興イベント事業」においては、昨年より開催している「能登ふるさと博」を継続あるイベントに仕上げいくことを最終目標とし、「誘客促進事業」については能登空港の利用促進をはじめ、高速道路、JRなどをフル活用させた観光客拡大、交流人口拡大を目指します。「観光基盤整備事業」においては、国内外の地域と比較し、競争力ある能登半島の観光資源づくりを目指します。また「協会の組織強化」においては、目標達成の組織づくりを強化させるため、役員の変更（理事長補佐）を行い、会員のための活力ある協会として、能登半島への誘客促進を努めて参ります。

I 能登半島地震復興イベント事業

1. 「能登ふるさと博」事業
 - (1) イベント開催
 - (2) 情報発信・広報活動

II 誘客促進事業

1. 集客促進事業
 - (1) 「東海北陸自動車道全線開通」1周年PR
 - (2) 能登空港利用促進キャンペーン
 - (3) 観光行事・イベントの実施（主催・共催・後援など）
2. 観光宣伝事業
 - (1) インターネット、パンフレット・印刷物製作などによる情報発信
 - (2) 観光関係者（雑誌記者、旅行作家など）への情報提供
 - (3) 能登空港チャーター便歓迎イベントの実施
 - (4) 能登の旅情報センターの活用
3. 旅行会社訪問・宣伝事業
 - (1) 旅行商品説明会への出向宣伝
 - (2) 現地研修・視察における情報提供
4. 教育旅行関係誘致事業
 - (1) 学校関係者・関係機関などへの出向宣伝
 - (2) 第23回全日本学生釣り選手権大会の開催

- (3) 大学生合宿・ゼミ旅行などの誘致
- 5. 外国人誘客事業
 - (1) V J C (ビジットジャパンキャンペーン) 事業との連携
- 6. 能登フィルムコミッション事業
 - (1) 映画製作・テレビ取材への協力
- 7. 能登キリコ祭り行事支援事業
 - (1) イベント助成
 - (2) 旅行商品造成助成
- 8. 能登空港二次交通運行支援

Ⅲ 観光基盤整備事業

- 1. 観光資源の開発保存
 - (1) 着地型旅行商品の推進
 - (2) 「妙成寺五重塔を国宝にする会」の推進
 - (3) 「能登のキリコ」国・県指定文化財の検討
 - (4) トキ分散飼育地運動
 - (5) 能登の森づくり、赤松林植樹運動
 - (6) 能登半島・七尾湾釣り堀構想の推進
 - (7) 能登の鳥の選定
- 2. 中央省庁支援事業
 - (1) 「能登半島観光圏」認定に伴う事業の推進
 - (2) 新規事業への応募・申請

Ⅳ 協会の組織強化

- 1. 総会、幹事会、部会の活性化
 - (1) 広報活動の強化(会員の情報収集、及び情報発信)
 - (2) 会員組織のネットワーク化
- 2. 講演会・セミナー・シンポジウム、研修会などの開催
 - (1) 「能登地域の観光基盤整備」に伴う視察旅行の実施
 - (2) MICEに関するセミナーの実施
- 3. 新規会員募集
- 4. 法人化の検討